

記者提供資料
2018年(平成30年)9月13日
福祉局高年介護室 山口・井上(☎078-918-5288)

## 認知症になっても安心して暮らせるまちへ

～初期診療費用の助成等で総合的施策を実施～

世界でも例を見ない高齢化社会の進展に伴い、認知症高齢者やその家族に対する支援の重要性が高まる中、本市においては、すべての人が大切にされる社会をめざす国際目標“SDGs”を具体化し、認知症になっても安心して暮らせる「やさしいまちづくり」を重点的施策に位置付け、明石市は、早期支援のための巡回相談や初期診療に係る費用助成事業を実施します。

また、こうした取組を次年度以降につなげ、さらに将来にわたって、まちの安心基盤となる総合的な認知症施策の構築に向けて、庁内検討チームを発足し、以下のポイントから課題整理や新たな取組等の検討を進めます。

### 1. 認知症施策推進のポイント（視点）

- (1) 本人目線
- (2) 家族等への配慮
- (3) 介護と医療の連携強化
- (4) 行政と地域の協働（ネットワーク）

### 2. 認知症早期支援事業

(1) 対象／75歳以上の高齢者

(2) 実施時期／本年9月25日

#### (3) 事業概要

- ◎地域総合支援センター等で用意する「認知症チェックシート（DASC-21）」にご記入いただき、その結果により医療機関への受診勧奨と受診費用に係る助成申請の案内を行う。
- ◎早期受診を促すため、チェックシート記入者には、全員に図書券（500円分）を贈呈する。
- ◎助成費用は、初診料の自己負担額（上限2,000円）とMRI等の確定診断のための検査費用の自己負担額（上限5,000円）の最大で1人7,000円と設定（生活保護受給者等医療費自己負担がない者を除く）。
- ◎自動車免許更新時に医師の診断が必要となった人（第1分類認定）にも、認知症検診受診費用を助成。

#### (4) 受診後のフォロー

##### ① 現制度の拡大適用

ア 居場所検索用端末（GPS）の基本使用料1年間分無料

540円×12月＝6,480円

イ タクシー券交付 500円券×12枚＝6,000円

（※上記ア、イのどちらか希望のものを助成する。）

##### ② 地域見守り支援

今後の地域生活を支援するために、初期受診の助成だけに終わらせないために、ご本人の意思を尊重した上で、認知症チェックシートの結果や医療機関での受診結果の情報を地域総合支援センターと共有することで、医療や介護など、地域での見守り支援に繋げていく。

### 3. 巡回認知症相談

(1) 対象／おおむね60歳以上

#### (2) 事業概要

「明石市高齢者福祉月間」の取組の一環として、市内4か所の「高齢者ふれあいの里」を保健師が巡回し、認知症に関する相談を実施。

- ・ 9月20日(木)…高齢者ふれあいの里 魚住
- ・ 9月21日(金)…            "            二見
- ・ 9月25日(火)…            "            中崎
- ・ 9月26日(水)…            "            大久保

（※受付時間はいずれも午前10時～正午）

### 4. 庁内プロジェクトチームの発足

#### (1) 検討事項

##### ① 現状確認と課題整理

庁内関係課及び各課が関係する機関や団体からの情報を共有し、さらなる充実策に向けた課題整理を行う。

##### ② 総合的認知症施策の具体化

現状から望まれる施策への具体化に向け、認知症施策を総合的、包括的に実施していくために、福祉局のみならず、庁内各部署からの視点も踏まえながら幅広い検討を行う。

#### (2) チーム構成

高年介護室、地域総合支援室、福祉政策室、あかし保健所、障害福祉課、政策室、市民相談室、総合安全対策局、市民協働推進室、都市整備室、社会福祉協議会

(3) 発足時期／10月（9月中に事前調査等準備）